



特集

第23回 通常総代会を開催

- Contents/目次
- 営農インフォメーション
- 女性のページ
- 農業指導センター情報
- 女性部のおすすめレシピ
- お知らせコーナー
- 読者のコーナー

橘小学校の5年生が田植えを体験。泥んこになりながら笑顔を見せていました。(詳しくは16ページに掲載)

児童が育苗センター見学 苗作りの様子を観察

北橘水稲育苗センターは5月13日、橘北小学校の5年生31人の見学を受け入れました。これは、一年間の米作りの学習のなかで、実際の苗作りの作業工程や苗の生育の様子を知ろうというものです。



苗の成長を確認する児童



一列に並んで田植えを行う児童

尚弘さんが播種プラントや出芽室などの役割を分かりやすく説明。育苗センターでの大事な仕事を覚えてほしいと話しました。児童らは、一生懸命にメモを取りながら大きな機械装置に興味を示していました。児童から「苗の種類は何種類ありますか」「鳥や害虫からどのように米を守るのですか」など多くの質問があり、吉田さんはひとつひとつ丁寧に答えていました。また、「苗作りには水と温度管理が大事。農家さんへ渡すまで大切に育てている」と苗作りへの思いを話しました。同校は6月7日(雨のため機械植え見学)と10日に田植え体験を行いました。約10アールの田んぼにひとめぼれを植え、10月に収穫体験を行います。

恐る恐る田んぼの中へ 児童らが田植え体験

管内の小学5年生が、それぞれの学校の近くの水田で田植え体験を行いました。この実習は、機械化が進み手植えをする姿を見かけなくなつた中、自分達が食べているお米がどのように育っていくのか体験を通じて学習するものです。児童らは、農業委員や地域のボランティアの方々に苗の植え方や、成長過程の説明を受けた後、小分けにした苗を受け取り、水の張った田んぼに入って行きました。

「足がぬけない」「冷たい」など、最初はなかなか進みませんでした。が、コツを教わりながら徐々に手



苗を手に、さあ植えるぞ(津久田小)

つきが早くなり、上手に植えられまし



等間隔に上手に植える児童(橘小)

た。顔や服に泥水が跳ねたり、中には足を取られて転んでしまう児童もいましたが、気にせず田植えを楽しんでいました。また、北橘地区(橘北小・橘小)では田植え機による田植作業の見学。赤城地区(津久田小)ではバケツ稲作りに挑戦。一生懸命植えた稲は、実りの秋に稲刈りや脱穀などの収穫体験を行う予定です。



角田さんの指導で植える児童(津久田小)

広報つばさ 令和4年7月発行/赤城橘農業協同組合 発行人/代表理事組合長 萩原一夫 編集/企画管理課

TEL 0279-564151 制作/株JAツバさ

第23回通常総代会を開催

J A赤城たちばなの第23回通常総代会が5月27日、本所で開かれ、上程された全6議案は原案通り可決されました。

昨年同様本年におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、総代の皆さまへ「議決権行使書」の提出による書面決議への協力をお願いし、規模を縮小しての開催となりました。



組合長のあいさつ

総代会には、各地区から選出された総代の446名のうち、本人出席4名、議決権行使書による書面出席349名と過半数を越えたため、定款第41条に基づき総代会は成立となりました。開会にあたり萩原組合長は「農業・農村では、高齢化や深刻な担い手・労働不足をはじめ、農畜産物の消費・流通構造の急激な変化、円安等による生産コストの高騰など、重大な課題が山積みしています。農業生産基盤は縮小傾向にあり、このままでは国民への将来にわたる食の安定供給に懸念が生じかねない状況にあります。新型コロナウイルス感染症の拡大は今年に入っても収束の気配が見えておらず、令和4年度においても蔓延防止等重点措置や緊急事態宣言の発令により、外食産業の営業自粛等を理由と

全議案が可決された第23回通常総代会



議案

報告事項

した国産農畜産物の需要減少とそれに伴う価格の低迷が続いています。一方で、世界的な原油高が続き、燃油や原油を原料とする資材、肥料、飼料価格の高騰や輸送コスト増加により、農業者は生産、販売どちらにおいても厳しい状況におかれています。

このような情勢の中、当JAは「第9次中期3ヶ年計画」の初年度にあたり、訪問活動や生産組織を通じた「担い手との対話」を原点として、持続可能な経営基盤の確立・強化と共に、組合員との徹底した対話を通じ総合事業を基本とした「不断の自己改革」に取り組んでまいります」とあいさつしました。

議長には赤城町長井小川田の角田順一さんが選任され、令和3年度事業報告及び剰余金処分案承認の件、令和4年度事業計画設定の件など、上程された6議案と付帯決議が審議され、すべて原案通り可決されました。最後に、第42回JA群馬県大会決議の着実な実践に向けた特別決議(案)を大畠代表理事常務が読み上げ、出席者の賛同を得ました。

- 令和3年度、貸借対照表、損益計算書、注記表の内容及び付属明細書並びに会計監査人の監査報告書及び監事の監査報告の件
- 第1号議案 令和3年度事業報告及び剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 経営基盤強化積立金創設の件

- 第3号議案 第9次中期計画並びに令和4年度事業計画設定の件
- 第4号議案 令和4年度賦課金の額並びに賦課徴収の時期及び方法決定の件
- 第5号議案 令和4年度における理事及び監事の報酬に関する件
- 第6号議案 定款並びに定款附属書総代選挙規程変更の件



規模を縮小しての開催となりました



特別決議案を説明する大畠常務



監査報告をする池田代表幹事



議案書を確認する出席者



議長を務めた角田さん

営農赤城たちばな ツォメーション

赤しそ目ぞろえ会 品質向上を目指して

赤城橋野菜組合は、赤しその出荷者に対して5月25日に北橋営農生活センター内集出荷場で目ぞろえ会を開きました。販売全農ぐんま榎本担当より、販



J A 担当者に質問する生産者

売経過と今後の見通しについて説明があり、本県共計は5月23日販売からスタート、他産地も全体的に生育が遅れていることから出荷のピークは6月2週目〜3週目となる見込み。また、相場は梅の出荷が6月20日頃に需要のピークが予想され、それに向け続伸するが、6月下旬以降は、例年通り軟調な相場展開となる予想」と話しました。

J A の赤沼担当は参加した21人に、「赤しそは赤い色が重要。お客様は赤い色を求めて購入される」と話し、出荷目前となった「共計赤しそ」の更なる品質向上のために、色や量目など栽培管理内容の申し合わせを行いました。赤しそは主に梅干し、漬物用、飲料用として使われ、京浜方面を中心に6月末まで出荷され今年度は約17〜18トの出荷を見込んでいます。



資料を確認する参加者

鑑賞用で人気 枝物ブルーベリー

赤城橋果実部会ブルーベリー分科会は、5月26日に赤城営農経済センターで目ぞろえ会を開きました。生産者ら16人が参加し出荷規格や荷姿について確認しました。

分科会長の齊藤和利さんは、「燃料価格高騰や資材などの経費が上がり苦労が多い。単価をなるべく高く維持して販売してもらいたい」と要望を話しました。枝物ブルーベリーは食用のブルーベリーの枝を観賞用として



出荷される枝を確認する齊藤さん

出荷。季節感を感じられることから、各家庭で飾るなど、一般消費者からの需要も高まっています。J A の岸岸担当は「病気や害虫などに気をつけ良好な品質を保ってほしい」と呼びかけました。

(株)大田花きの池上さんは「葉や実の緑のきれいを小売店を通じて一般にもアピールしたい。2mと長い物の需要にも対応したい」と話しました。ブルーベリー枝物出荷に関しては、全国の産地の中でも群馬県はトップレベルとの事。当J A の出荷時期は7月末までで、枝物のみの販売高は昨年実績が829万円だったため、今年度はそれ以上を目指したいとしています。



目ぞろえ会に参加した皆さん

出荷規格確認 ズッキーニ目ぞろえ会

赤城橋野菜部会ズッキーニ分科会は5月11日、営農生活センターで目ぞろえ会を開き分科会員21人が参加しました。分科会長の石田修さんは「種苗会社によるとズッキーニ種子の生産量が増加し、産地が増えてきているとの事。品質を管理し他に負けないよう良質な生産を目指しましょう」とあいさつしました。

県渋川地区農業指導センターの後藤担当は、ズッキーニにおける登録農薬の変更や使用につ



出荷規格を確認する生産者

いて指導。また、最近多発しているトラクター事故の注意喚起や、ハウス内作業中の熱中症に気を付けるよう呼び掛けました。J A の赤沼担当より、出荷規格や荷造り方法、栽培記録用紙の提出について説明。栽培にあ

たっての注意事項として、「昨年からは主に栽培を始めた「ゼルダ・パワー」は、草勢が強く多くの水分を吸い上げて、果実へも過剰に水分がいき、水泡症が心配される。グリーンポート2号より灌水量を抑えた栽培管理が必要だ」と話しました。また、高温時期は下葉を取り、蒸れを防いでハダニ防除をするよう指導しました。

参加者は出荷されたズッキーニを見ながら、大きさや色つや、箱の詰め方を確認しながら意見を交わしていました。



後藤担当の説明を聞く参加者

生育や防除を確認 パプリカの現地研修会

赤城橋やさい部会パプリカ分科会は6月20日、第2回目の現地研修会を行いました。5月16日の1回目から約1か月が経過し、生育状況や出荷前の病害虫防除について確認しました。会員や、県渋川地区農業指導センター及び全農ぐんま、J A 担当者ら15人が参加し、午前中は北橋地区、午後は赤城地区のほ場をそれぞれ巡回しました。

分科会長の萩原元男さんは、「周りの雑草に発生した虫がハウス内に入ってくる。昨年アザミウマが大発生した。なるべく虫の被害を受けないように除草対策も重要」と状況を話し

ました。県渋川地区農業指導センターの後藤担当は、「5月から天候不順で、今年寒暖差が激しく例年より生育の遅れが見られる。今後、暑くなった時のべと病の



ほ場を巡回する参加者

注意や水分管理、梅雨明けの遮光準備をしてほしい」と呼びかけました。

パプリカの出荷は7月上旬から始まり、主に首都圏や北陸、県内の市場に出荷されます。



生育状況を確認する後藤担当とJ A 職員

woman voice

女性のページ

手芸グループ活動 華やかなエプロンを製作

J A女性部手芸グループは八崎ふれあい館でエプロン作りを行いました。5月10日に型紙を作り生地を裁断を行い、18日にミシンで縫い上げ作業を行いました。



素敵に仕上がりました



ミシンで縫うのは任せて

以前、家の光誌に掲載されていたものを参考に女性部で作ったことがあるエプロンは、行事やイベントなどに着用し部員や多方面から評判の高かった作品です。今回手芸グループ員が作ってみたいということで、リーダーの鳥山薫さんと、サブリーダーの佐藤幸枝さんが講師となり作業を進めました。

このエプロンの特徴は、ポケットに携帯電話を入れても落ちないよう工夫されており、家事の最中でも安心です。

参加者は、型紙製図から縫い上げまで一貫した製作は初めてで苦労した部分もあり、時間の都合で作業を中断し帰宅した人もいましたが、完成させたエプロンを着用したメンバーは「とても素敵に仕上がった」「家事が楽しくできそう」などと笑顔で話していました。

花グループ寄せ植えで 初夏の花を楽しむ

J A女性部花グループは5月23日に八崎ふれあい館で寄せ植えを行いました。寄せ植えは12月の行事として定着しています。春から初夏を迎える時期は冬とは違う花材も多く見られるので、ぜひ楽しみたいと14名が参加しました。

今回使用した花材は、カリブラコア・イングリッシュラベンダー・千日紅・ピラカンサスの4種類。J Aの佐藤担当が花の特徴や管理方法を説明したあと、参加者は持参した鉢に手際よく



バランスを
考えて
手際よく

完成した寄せ植えを前にした参加者



よく苗を植えました。枯れた花や葉っぱを取り除いたり、切り戻しなど適切に管理することでボリュームが増し、どれも11月頃まで花を楽しむことができます。また、挿し木で容易に増やせるので、他の鉢や地植えで自宅の庭を花いっぱいにするのもおすすめです。

健康グループ体操教室 丹田呼吸法を学ぶ

J A女性部健康グループは5月16日に体操教室を開き、メンバー9名が参加しました。年間を通じて5回行う予定で第1回目は、疲れを解消し睡眠を整えるために有効な呼吸法を学びました。リーダーの奈良みつ子さんが講師となり、丹田（へその5cm程下の部分にあるつぼ）を意識して深く深呼吸、息を吸うよりも吐く方が大切で、「ゆっくりに深く吐き出すのがポイント」と説明しました。この丹田呼吸法の優れたところは、血流が良くなると体温が上がり睡眠の質があがること。また、体を曲げる、伸ばすなどの動作のときに丹田呼吸を行いなからすると怪



ストレッチを行う参加者の皆さん

我を防ぐことができず。奈良さんはいくつかのストレッチを紹介し皆で実践しました。「体のどこか痛いときや不調を感じたときこそゆっくりに深く深呼吸して。丹田を意識しましょう」と指導しました。

参加者は、「じわじわ温かくなった」「肩が良く回るようになった」などと早速効果を感じていました。数日、数週間と続けていくことでその効果の大きさに気づくと思います。

呼吸法を説明する奈良さん



美化グループ花壇整備で 玄関を華やかに飾る

J A女性部の美化グループ員4名は6月14日、花活動として本所の花壇とプランター、北橋支所のプランターの整備を行いました。

昨年12月に植えた花が枯れてきたので新しい花苗に植え替えました。本所の花壇には高さのあるブルーサルビアと赤や白、ピンクなどの日野草をバランスよく植え、とても華やかになりました。また6個のプランターにも、3種類の花を植えて玄関前に置いてあります。北橋支所にはマリィーゴルドのプラウドマリーミックスという品種を植えました。大輪種でボリューム満点で来店されたお客様の目を楽しませてくれると思います。

参加者は「花を植えるのは気持ちがいい」「J Aを訪れる人に癒しを与えられるらうれし」と笑顔で話していました。美化グループは年2回

の花活動のほか、クリーン作戦で道路のゴミ拾いなどの清掃活動を行い、地域の環境美化に取り組んでいます。



北橋支所で

配置を
どうしよう
かなあ





女性部のおすすめレシピ



鶏むね肉の味噌マヨソテー

材料(4人前)
 鶏むね肉440g
 エリンギ1パック(100g)
 溶き卵4個分
 みそ大さじ4
 キャベツ1/3玉(320g)
 タケノコ水煮1/2本(80g)
 マヨネーズ大さじ4

【つくりかた】
 ①キャベツは4cm角に、エリンギは5cm厚さに、タケノコは4cm長さにそれぞれ切る。
 ②鶏肉は一口大のそぎ切りにする。
 ③フライパンを熱し、マヨネーズ大さじ2を入れて広げる。②を加えて両面を焼き、火が通ったら残りのマヨネーズとみそを加え、さらに1を加えて焼く。
 ④③の具をフライパンの端によせる。空いたスペースに溶き卵を流し入れ、半熟状にして全体を混ぜ合わせる。



カレーマリネ《2種類》

材料・分量
※それぞれ1個に対しての調味料の分量
 タマネギ1個(約300g)
 ズッキーニ1本(約200g)
 エーコープらっきょう酢50ml
 粉末のカレー粉小さじ1/2~小さじ1
(分量はお好みで)

【つくりかた】
(タマネギ)
 ①タマネギは縦半分になり、それぞれをくし形に8等分に切る。
 ②バラバラにして保存袋に入れ、分量の調味料を加え良く揉む

【つくりかた】
(ズッキーニ)
 ①ズッキーニは3cmくらいの長さに切ったら、くし切りにする。
 ②保存袋にいれ、分量の調味料を加え良く揉む。

冷蔵庫で一晩おいたら食べられます。新タマネギやズッキーニが採れる時期です。さっぱりして美味しいですので、ぜひお試しください。

農業指導 センター 情報

農薬適正使用について

農薬は農作物の安定生産には欠かせないものです。しかし、農薬の使用と管理については、使用者が登録された農薬を適正に取り扱うことが重要です。基本に立ち返り、農薬の適正使用について確認してください。

有効期限切れ農薬(産業廃棄物)は使用しないようにしましょう

農薬は時間の経過などにより徐々に物理性が変化したり成分が分解したりすることもあり、農薬製造会社は法に基づき保存安定性試験を行って最終有効年月を定め農薬の品質を保証しています。農薬使用者の義務としても、また確実な効果を得ると

いうことから、最終有効年月を過ぎた農薬は使用しないようにしましょう。



最終有効年月に注意!

地域とのコミュニケーション

農薬を散布するときには、周辺住民や隣接ほ場の作物栽培者に声かけし、農薬散布事故を未然に防ぎましょう。



農薬使用時の注意事項(農薬飛散防止対策)

農薬飛散は、近隣とのトラブルになる可能性があります。次のことに気をつけて、農薬を散布しましょう。
 (1)ラベルに記載されている登録

内容の確認

- (2)対象作物の近接散布の確認
- (3)散布時の圧力・風向き・風速(風量)の確認
- (4)隣接するほ場の栽培作物確認
- (5)ドリフトしにくい農薬の利用
- (6)ドリフト低減ノズルの利用
- (7)遮蔽シート・ネット等の利用

農薬使用後の確認事項

- (1)農薬散布に使った器具や防除衣、タンク、ホース内の洗浄を行う。
- (2)農薬を使用した年月日、使用した場所、使用した作物、使用した農薬の名称、使用量または希釈倍率等をしっかり記録に残し保管する。
- (3)農薬は鍵のかかる保管庫で管理する。

農薬の廃棄と処分について

農薬をやむを得ず廃棄する場合は、次のことに気をつけ、適切な方法で処分しましょう。
 (1)容器内に農薬を残したまま廃棄しない。
 (2)残った農薬は誤用、誤飲、誤食などを避けるため、他の容器に移し替えない。
 (3)使用後に余った農薬及び使用

済み容器に付着した農薬は河川、湖沼、用水路、下水等の水系に絶対に廃棄しない。

- (4)許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。
- (5)JA等が回収・処分しているところでは、定められた方法に従う。

※基本的に、市町村が回収するゴミには出さないようにしましょう。



× 農薬空容器の放置 × くん蒸剤の空容器の放置

おわりに

農薬を適正に使用することは、農作物を食べる人の安全を確保するだけでなく、農作物を生産する農家の自身の健康と安全を守るものでもあります。農薬の使用にあたっては十分注意し、使用基準を守って防除を行ってください。

(渋川地区農業指導センター)

就農支援講座
受講生を募集

JA赤城たちはなは、定年退職者や帰農者など、就農希望者の皆さんの農業を応援するとともに、組合員の農業知識や経営の向上を目的に就農支援講座を開講します。

受講を希望する方は、お気軽にお問い合わせください。

●実施日
令和4年10月下旬～11月下旬

(計4回 現地実習含む)

●集合場所

北橋営農生活センター

●対象者

就農希望者

(組合員外の参加も歓迎)

●募集定員

先着15人程度

●申込締切

令和4年10月上旬

●申込み・問い合わせ先

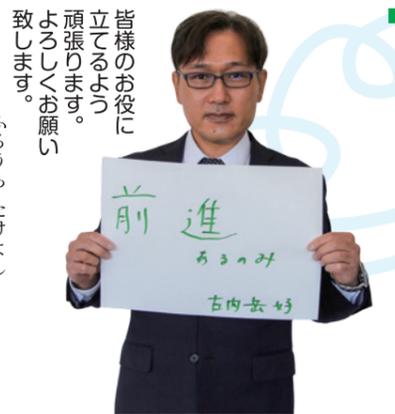
農産園芸課 田中・赤沼

☎0279(52)2116

前回の
就農講座
の様子



新入職員を
ご紹介します!



皆様のお役に
立てるよう
頑張ります。
よろしくお願
い致します。

●氏名 古内 岳好
●配属先 北橋支所
●住所 北橋支所
●趣味 バイクツーリング



明るく元気に
頑張ります。
よろしくお願
い致します。

●氏名 松村 梓乃
●配属先 北橋支所
●住所 北橋支所
●趣味 旅行

生徒らがJAの仕事で
勤労の意義などを学ぶ

北橋中2年の生徒3人が6月7日から9日の3日間、JAの農産園芸課や北橋支所、経済課で職場体験を行いました。これは体験学習を通して、働くことの喜びや苦勞、生きがいや意義などを実感でき、将来に向けての職業への関心、興味を高めようというものです。

7日は育苗センターで業務を体験。8日は北橋支所で書類の整理や、パンフレットの準備など行いました。9日は経済課で商品の品出しや値札の貼り付け、レジでお客様の対応などを体験しました。また、職員と一緒に段ボールの配達にも行きました。



お客様の対応でレジに挑戦



北橋支所でパンフレットの準備



配達に行っています

「農業の事を知れたかった」と志望動機を話してくれた生徒は、JAにはたくさんの仕事があることを知りました。

休日・夜間
緊急連絡先

- 通帳、キャッシュカードの盗難、紛失
JAバンク群馬
キャッシュカード紛失共同受付センター
☎0120-25-4422
- 交通事故(=自動車共済の事故受付)
JA共済事故受付センター
☎0120-258-931
- LPガス切れ・故障
JAあんしんセンター
☎0120-182-571
- 葬祭に関する連絡先
ふれあいの店北橋店 TEL.0279-52-2104
ふれあいの店赤城店 TEL.0279-56-2325



休日相談会
開催!!

お電話または
窓口にて
ご予約受付中

ローン、相続、
自動車共済、
生命共済など

JA職員が、ご相談にお答えします。お気軽にご来場・ご相談ください。

開催日	7月24日(日) 8月28日(日)
開催時間	9:00~16:00
開催場所	北橋支所 ☎0279-52-2103 赤城支所 ☎0279-56-2301

5月末のJA報告

組合員総数	3,434人
(うち正組合員)	1,934人
出資金総額	5億 2,879万円
事業実績	
貯金総額	334億 5,079万円
貸出金総額	63億 5,439万円
長期共済保有額	921億 1,752万円
農畜産物販売総額	10億 7,641万円
購買品供給総額	2億 1,689万円
自己資本比率	17.73% (令和4年2月末現在)

理事会だより

- 協議事項(4月26日)
- 第1号議案 第23回通常総代会提出議案承認の件
 - 第2号議案 役員賠償責任保険の契約締結の件
 - 第3号議案 理事会規程変更の件
 - 第4号議案 自己資本比率算出要領変更の件
- 協議事項(5月27日)
- 第1号議案 令和4年度仮決算方針決定の件
 - 第2号議案 第23年度業務報告書提出の件
 - 第3号議案 令和4年度における理事の報酬配分決定の件
 - 第4号議案 個人情報保護法改正に伴うJA赤城たちはな個人情報保護方針及び関連規程等変更の件
 - 第5号議案 令和3年度期末監事監査の指摘事項に対する改善対応策決定の件

退職者

お世話になりました

6月 小林 恭平
内藤 楓

JA 葬祭事業の
お知らせ

安心と信頼を
モットーに
真心をこめて
お手伝いします。

■指定店
・ギフトショップイノ・須田葬祭
・さいとう典礼

●24時間受付対応電話番号
TEL.0279-52-2104
TEL.0279-56-2325

組合員の皆さまへ
異動手続きについてお願い

組合員皆さまの住所や氏名、組合員資格に変更があった場合は、変更手続きが必要になります。お心当たりのある方は、最寄りの支所にご相談のうえ、変更手続きをお願いいたします。



新登場!

農業者賠償責任共済

安心の保障です。



農地や農業施設の
所有・使用・管理や農作業に起因する
賠償責任への保障をお考えの方に



農業を取り巻く賠償リスクを「安心・シンプル・簡単」に解決します!

基本保障内容

保障項目	支払限度額*1		
	3,000万円コース	5,000万円コース	1億円コース
施設賠償	3,000万円	5,000万円	1億円
生産物賠償	300万円	500万円	1,000万円
保管物賠償	300万円	300万円	300万円
生産物回収費用	なし	なし	なし
免責金額*2	なし	なし	なし

*1 支払限度額…契約期間中に通算でお支払いできる共済金の限度額のこと
*2 免責金額…共済事故(共済金のお支払いに該当する事由)が発生した際に、被共済者が自己負担しなければならない金額のこと

加入例 所有または管理している農地面積が3haの農業者の場合 **1億円コース** 年間**14,150円**

(2022年4月時点)

ポイント1 1日あたり約**40円**で保障 **ポイント2** 共済掛金は**必要経費**として計上可能(法人は損金算入可能)

※詳しくは、リーフレットをご確認ください。

損害賠償事例 (施設賠償リスク)

<p>【事例①】 草刈機を使って草刈中、小石をはねて他人の車をキズつけた。</p> <p>損害賠償額例 約50万円</p>	<p>【事例②】 畑で農薬を散布していたところ、操作を誤り、隣接する農家の畑に農薬が飛散し、生育不良となった。</p> <p>損害賠償額例 約510万円</p>	<p>【事例③】 肥育している牛が敷地外へ脱走し、走行中の他人の車両と接触し、損害を与えた。</p> <p>損害賠償額例 約70万円</p>
--	---	---

※1 お支払いには所定の条件があります。 ※2 損害賠償額例はJAグループ調べ

農業者を取り巻くリスクは身近に存在しており、**農地や農業施設の所有・使用・管理、農作業に起因する賠償事故が多く発生しているため農業者賠償責任共済(ファーマスト)で備えておきましょう。**

この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

お問い合わせは **北橋支所 ☎52-2103**
赤城支所 ☎56-2301

JA共済の資料請求サイト **はじめて共済**

はじめて共済

<https://shiryo.ja-kyosai.or.jp>

本サイトから「ひと・いえ・くま」各共済の資料請求・掛金試算ができます。

JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>



安心

幅広い賠償責任をカバー
多くの農業者共通の4つのリスクに対して一つの共済で総合保障。

施設賠償 リスク	生産物賠償 リスク
保管物賠償 リスク	生産物回収 費用リスク

シンプル

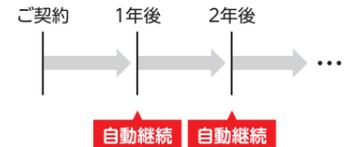
わかりやすい共済掛金設定
基準となるのは農地面積とご希望の支払限度額のみ。

3つのプランをご用意

3,000 万円 コース	5,000 万円 コース	1億円 コース
--------------------	--------------------	------------

簡単

自動継続で手間いらず
1年で自動継続するため、面倒な継続手続き等は不要*。



*農地面積に変更がある場合等を除く



施設賠償

農地や農業施設の**所有・使用・管理**や**農業**が原因で他人を死傷または他人の財物を損壊させたことにより生じた賠償責任に対する保障。



生産物賠償

農地や農業施設において**生産・加工・販売した生産物**が原因で他人を死傷または他人の財物を損壊させたことにより生じた賠償責任に対する保障。



保管物賠償

管理・使用する他人の財物(農業に関するもの)の**損壊・紛失・盗難**によって発生した賠償責任に対する保障。



生産物回収費用

生産物に**異物の混入等**が生じたり、出荷した野菜・果実等から**残留農薬**が検出されたりしたことが原因で発生した生産物回収等に関する費用。

コーナー

みなさん、
「JA」を
読んでくれて
ありがとうございます。

あなたの俳句 お待ちしております。

[投句の記載事項]
俳句(漢字にはフリガナをつけ、楷書で記入)
郵便番号/住所/氏名(併記)/年齢/電話番号
[投句方法]
・最寄りの支所窓口へ
・FAX:(0279)56-4152
・e-mail:tsubasa@jaat.jagunma.net
・郵送:〒379-1124 渋川市赤城町滝沢64-2
[投句先]
JA赤城たちばな 企画管理課
[締め切り]
令和4年8月5日

俳句

選者 狩野 忠史

白椿闇にこっそり落ちたでしよ

大谷利津子

評 この句を見て「赤い椿白い椿と落ちにけり」河東碧梧桐の句を思った。碧梧桐の句は赤と白が混じって落ちたがこの句は白に焦点を当て闇の黒に對比させた。作者は白椿を朝、見つけた。下五の口語調が生きた。

暑気払焼き饅頭を手に戻る

進藤 弓子

評 暑気払いに出かけた御主人が焼き饅頭を手にして帰宅。一杯飲むとあの香りにつられて焼き饅頭が食べなくなる。手に戻ることがミソで、買ってみたものの食わずに串のまま持ち帰ったのかも知れない。

藤椅子の軋みに吐息洩らしけり

小田 和子

足腰に粘りの失せし田植時

小田 慶喜

竜の口水ちよろちよろと寺暑し

角田美枝子

四阿にたたむ雨傘夏浅し

高桑ひろみ

空き箱に掛けて一服汗臭ふ

森田はるみ

風薫る弥生の壺の櫛描文

長岡 和恵

紫陽花や友と散歩の道すがら

佐藤 満子

難しき名前賜り入学す

佐藤 勝子

父の日や電車の窓を雨伝ふ

狩野 榮子

霊山の参道烟る花の雨

諸田みね子

蒲公英の綿毛飛び交ふ村が好き

高橋 初江

城沼の躑躅の迷路声を追ふ

諸田 夏江

鯉幟揚げし遠き日想ひけり

高橋 絹江

子供の日声の弾める鬼ごっこ

岩崎 恵子

小流れの脇石座せば落し文

狩野ミエ子

草餅や野の香野の声妻の枝

大友 龍子

夏来る音とどろかせバイク行く

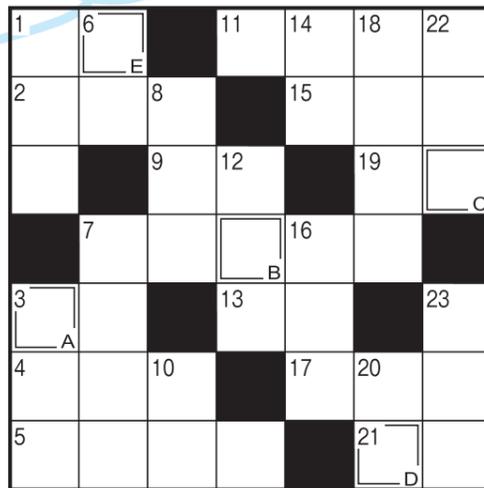
藤川ひとみ

めざめれば外は真っ白桜花

松岡 悦子

【クロスワード】

二重枠に入った文字を、A→Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



今回の出題は、クロスワードパズルです。正解者には抽選で「粗品」を進呈しますので、皆さん振るってご応募ください。

[応募要項]
はがき(私製も可)に、答えと住所、氏名、年齢、職業、TEL、ご意見・ご感想等をご記入のうえ、JA各支所または、企画管理課までお送りください。
e-mail・FAXでもご応募できます。
e-mail tsubasa@jaat.jagunma.net
FAX:(0279)56-4152
[締め切り] 令和4年8月10日

1. 答え
2. 住所 氏名 年齢 職業 電話番号
3. ご意見等

パズルの頭の体操

【前号の解答】

クロスワードの答え

エメラルド
A B C D E



■当選者(応募数20通)
佐藤満子さん 北橋町上箱田
萩原君子さん 北橋町小室
高橋節子さん 赤城町上三原田

ありがとうございました。

■ヨコのカギ

- ①7月の第3月曜日はいのちの日。国民の祝日です
- ②お遍路さんが巡ります
- ③ムチとの使い分けが大切
- ④開くと花が咲きます
- ⑤そうめんをゆでている途中に入れる人もいます
- ⑦泳げない人の強い味方
- ⑨夏の土用の―の日にはウナギを食べると良いといわれます
- ⑪輪島や呼子のものが有名
- ⑬蚕の繭から作る繊維
- ⑮鉄がさびるのはこの化学変化によるものです
- ⑰京都の夏を彩る―祭
- ⑲酔うとこの猛獣になる人もいます
- ⑲ 1-11

■タテのカギ

- ①前の反対側
- ③梅雨が明ければ夏本番―が増します
- ⑥神社で神事に奉仕する女性
- ⑦土用干しをする漬物
- ⑧窒素(78%)、酸素(21%)などが含まれます
- ⑩音を聞き取る器官
- ⑫波―を上げて船が進む
- ⑭七夕飾りや短冊をつります
- ⑯カブトムシが集まる木の―
- ⑰歌謡曲などの前奏のこと
- ⑲唱歌「夏の思い出」の歌詞に出てくる地名
- ⑲ 継続は―なり
- ⑲ 列車を走らせるために敷きます

編集後記

広報を担当して2回目の発行となりました7月号はいかがでしたか。取材の際、まだまだ遠慮がちな自分に声を掛けて下さる皆さんに感謝しております。これからも頑張りたいと思っております。よろしくお願いたします。最後まで読んで頂きありがとうございます。



老いたれど空いっばいの滝ざくら
麦の秋禾に悩みし昭和かな
選者 詠
広田 久枝